

幸手市立さかえ小学校

命の授業



第5学年

特色

- 幸手市愛育会の方々を講師として招き、命についての講話を聞いた。また、人形を使って赤ちゃんの世話を疑似的に体験する中で命の大切さを学んだ。
- 児童の幼い頃の写真を提供してもらったり、当日補助として参加してもらったり、保護者の協力も得て行った取組である。

児童の感想

- 人形を使って抱っこやおんぶをして、本物の赤ちゃんの重さや小ささを感じました。赤ちゃん人形がとても可愛くなりました。
- オムツを替えたりミルクを飲ませたりするのが思ったより大変でした。子どもを育てるのは大変なことだと思いました。
- ここまで自分を育ててくれた父と母に感謝したいと思いました。

成果

- 幸手市愛育会の方々の協力を得て体験的に活動できた。人形の扱い方を教えていただく中で、命の大切さを学ぶことができた。
- 赤ちゃんの世話を疑似的に体験することで、育児の大変さを知るとともに、親への感謝の気持ちを深めることができた。
- 学校、家庭、地域が連携して行う教育活動となった。